

建築学科創設 **50** 周年記念

福岡大学建築展

作品展示期間 4月25日(金)ー27日(日) 10:00~17:00

作品展示会場 アクロス福岡 1階アトリウム

OB 作品展示会場 アクロス福岡 2階交流ギャラリー

2014

50 周年記念講演

テーマ 「様相について」

講演者 原 広司

(建築家・東京大学名誉教授)

コーディネーター 太記 祐一(福岡大学教授)

日時 4月26日(土) 15:00 ~ 17:00

会場 アクロス福岡 7階大会議室

シンポジウム

テーマ 「学生時代に描いた夢と今の仕事内容・夢について」

パネリスト HAGUIKO 芽子(陶彫家)、弓削 裕治(株式会社竹中工務店東京本店副本店長)、
大庭 拓也(株式会社日建設計設計部)、ひだか しんさく(アニメーション作家)

日時 4月26日(土) 13:00 ~ 14:30

会場 アクロス福岡 7階大会議室

人数 200名(無料・申込先着順)

申込方法 E-Mail もしくは FAX にて、氏名・所属・連絡先 TEL・連絡先 E-Mail を
明記の上、お申込みください。申込書は、福岡大学工学部建築学科
ホームページ (<http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/arch/>) でダウンロードできます。

＊ アクロス福岡(福岡市中央区天神 1-1-1)

へのご来場には地下鉄が便利です

問い合わせ先 福岡大学工学部建築学科

TEL: 092-871-6631(内線 6533) FAX: 092-865-6031(事務室)

HP: <http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/arch/>

E-Mail: tasympo@fukuoka-u.ac.jp



2014
建築学科創設50周年記念事業開催

2012
五号館アトリウム後にワークスペース開設

2009
卒業生5000名を越す
福大建築展2008をアクロス福岡で開催し来場者増進
小規模・試験作業保存のためデジタルアーカイブシステム導入

2008
JABEE認定プログラムとして認定

2007
日本建築学会大会(九州)開催

2005
522教室・524教室にL/A設備導入
第一機造美観室に二方向観望新築設置

2005
建築学科創設40周年記念講演会開催(伊東豊雄氏)

2004
544教室にマルチメディア設備導入

2003
544教室に無線LAN設備導入

2000
卒業生4000名を越す

1997
卒業設計においてCAD化が本格化する

1995
日本建築学会九州支部研究発表会開催

1994
建築学科創設30周年記念事業開催

1993
五号館に建築資料室設置
卒業生3000名を越す

1992
工学研究科にエネルギー・環境システム工学専攻博士課程後期開設

1991
卒業生の住所データベース整備を開始

1990
工学研究科に建設工学士課程開設

卒業生2000名を越す
第二機造美観室に新設試験設備・運動・福祉設備設置

1980
十一号館・第二機造美観室竣工

1978
第一機造美観室に新設試験設備設置

1973
卒業生1000名を越す

1971
日本建築学会九州支部 研究発表会開催

1966
1回生卒業

1965
第一機造美観室に300トン試験機・二方向・観望特別試験設備

1964
五号館・五号館附設・第一機造美観室竣工

1964

建築学科創設 50 周年記念 福岡大学建築展 2014

50 周年記念講演：「様相について」

シンポジウム：「学生時代に描いた夢と今の仕事内容・夢について」

「様相について」 原 広司

均質空間が、つねに一定の状態を保ちつづけるのに対して、親自然的な空間は、自然の呼吸に合わせて、その都度好ましい状態を生み出そうとする。別の言い方をすると、均質空間が、必然様相 (necessary mode) の建築つまり機械の美学の建築によるのに対して、親自然的な建築は、可能様相 (possible mode) の建築で、それ故さまざまに様相変換 (モード・チェインジ mode change) する。例えば、『方丈記』の庵は、様相の建築で、4 季のモード・チェインジを美しく演出する。こうした事例に合わせて、代表的なモードやモード・チェインジについて、札幌ドームなど具体例をもって説明する。

● 主 旨

2014 年 4 月、福岡大学工学部建築学科は創設 50 周年を迎える。これを記念して本学科では、シンポジウムと記念講演会を準備している。

シンポジウムでは、さまざまな分野の第一線で活躍する卒業生に集まって頂き、学生時代に考えたことと現在について語って頂く予定である。本学科が誕生した 1964 年 4 月はまさに東京オリンピック前夜、戦後復興を遂げた日本が、高度経済成長という右肩上がりの急坂を一気に駆け上ろうとするさなかであった。それから 50 年の間に建築学科が世に送り出した卒業生は、5,000 名をこえる。そのなかの 4 名の先輩と共に、大学生活の持つ意味について考えてみたい。

記念講演会では原広司先生をお招きし、「様相について」とのタイトルでお話しいただこう。機能を重視した建築空間が限界を示して久しい。原先生が、様相という言葉を実験空間に用いるようになったのは、大学教授としての研究と、建築家として実践を踏まえてのことであった。世界各地の集落調査と、哲学的ともいえる深遠な思索の間から生み出されたこの概念は、大変難解なものではあるが、しかし今後の建築を考える上で、ますますその重要性を増しているのではないかと考えていく。

以上、対照的ともいえる二つの催しを通して、仕事・自分・社会などの関係について、考えていくことができれば幸いである。

● 日 時

2014 年 4 月 26 日 (土)

○ シンポジウム： 13 時 00 分～ 14 時 30 分

○ 50 周年記念講演： 15 時 00 分～ 17 時 00 分

● 会 場

アクロス福岡 7 階大会議室 (福岡市中央区天神 1-1-1)

【講演者プロフィール】

● 定 員

200 名 (申込先着順)

原 広司 (建築家、東京大学名誉教授)
HIROSHI HARA (architect)

● 参加費

無料

● 50 周年記念講演 講演者

原 広司 (建築家・東京大学名誉教授)

● 50 周年記念講演 コーディネーター

太記 祐一 (福岡大学教授)

● シンポジウム パネリスト

HAGUIKO 芽子 (陶彫家)
弓削 裕治 (株式会社 竹中工務店東京本店副本店長)
大庭 拓也 (株式会社 日建設設計部)
ひだか しんさく (アニメーション作家)

【申込方法・問い合わせ先】

氏名、所属、連絡先 TEL、連絡先 E-Mail を明記の上、
E-Mail もしくは FAX にてお申込ください。申込書は、
福岡大学工学部建築学科ホームページでダウンロードできます。
福岡大学工学部建築学科 野中徳子 / TEL: 092-871-6631 (内線 6533)
E-Mail: tasympo@fukuoka-u.ac.jp / FAX: 092-865-6031 (事務室)
福岡大学工学部建築学科 HP <http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/arch/>

プロフィール 1936 年川崎生まれ | 59 年東京大学工学部建築学科卒業 | 64 年同大学数物系大学院建築学専攻博士課程修了、工学博士 | 64 年東洋大学工学部建築学科助教授 | 69 年東京大学生産技術研究所助教授 | 82 年同教授 | 97 年同大学を退官、同大学名誉教授 | 70～98 年設計活動をアトリエ・ファイ建築研究所と協同 | 99 年原広司+アトリエ・ファイ建築研究所に改名 | 01 年ウルクアイ国立大学 Profesor Ad Honorem
主な作品 「田崎美術館」日本建築学会賞 | 「ヤマトインターナショナル」AD Award、第一回村野藤吾賞 | 「梅田スカイビル」日経 B P 技術賞大賞 | 「JR 京都駅」2001 Brunel Award 建築部門奨励賞 | 「内子町立大瀬中学校」日本建築学会作品選奨、公共建築百選 | 「札幌ドーム」日本建築学会賞技術賞
主な著書 67 年『建築に何が可能か』(学芸書林) | 73～79 年『住居集合論 1～5』(鹿島出版会) | 87 年『空間 (機能から様相へ)』(岩波書店) | サントリー学芸賞 | 87 年『集落への旅』(岩波新書) | 98 年『集落の教え 100』(彰国社) | 01 年『Hiroshi Hara』(WILEY-ACADEMY) (共著) | 04 年『DISCRETE CITY』(TOTO 出版) | 09 年『YET』(TOTO 出版)